



援農作業における傷害や事故防止のために

NPO法人 すずしろ22

改定第2版:15-APR-2021

安全への配慮は最優先事項、自己責任のもと安全確保に努めましょう。

○“だろろう作業”から“かもしれない作業”へ

「あぜ道ではすべらないだろろう」から、「すべって転ぶかもしれない」へ。

○事例に学ぶ

『人間は体験した事例を身体でおぼえ、再発防止に役だてることのできる』とか。発生した事例を事前学習して、事故の事前防止につなげましょう。

農の現場での「ヒヤリハット事例」を紹介します

①50cmほどの高さのあぜ道なので平気だろろうと跳び下りたら、捻挫してしまった。

* くじくかもしれないという予見……体力の衰えは、残念ながら本人の自覚以上かもしれません。

②農道で滑って転び、持っていた農具で怪我をした。

* すべるかもしれないという判断……農具は、転んでも怪我をしない持ち方をしましょう。

③畑の異物を踏んで、足に怪我をした。

* 見えている異物は予想以上に危険かもしれない……底厚の靴を着用しましょう

④支柱立て作業で、ポールがおれて腹部を痛めた。

* ポールは、経年変化で弱っているかもしれません……折れたポールが身体に当たらぬ体位を取りましょう。

⑤グラスファイバによるトンネルづくり作業で、指にファイバの刺をさした。

* グラスファイバの繊維は、細く割けることがあります……手袋は必ず着用しましょう。

⑥真夏の作業で、熱中症を体験した。

* 帽子は(頭部保護のためにも)必需品。飲み物は身近に置き、適宜水分を取りましょう。



⑦鎌による草取りで鎌がすべり、足先を怪我した。

* 鎌が石等の異物に当り、力のコントロールが狂うかもしれません……手袋、安全な靴の着用をしてください。

⑧あぜ道がもろく、数メートル下を流れる川まで転落した。

* あぜ道の斜面は 雨がふりますと、意外にもろくなっているかもしれません……状況の慎重判断をしてください。

⑨左手で草をつかんで刈るとき、右手の鎌で左指を切ってしまった。

⑩材木を二人で運び降ろすとき、掛け声をかけなかったため、タイミングが合わず一人の足の上に材木が落ち、足の指を骨折した。

⑪ハウス内作業で、はりに頭をぶつけコブを作ってしまった。

* ハウス内には支柱の強度を保つためのワイヤやひりが横に渡っております。足元だけでなく頭上にも注意しましょう。

⑫農道で車の方向転換をしようとして脱輪した。

* 農道は狭く、また側溝が草で覆われ見えにくくなっております。方向転換時はもちろん、すれ違い時にも注意しましょう。

⑬自転車で走行中、道路の白線で滑って転倒し、怪我をした。

*道路の白線や標識等のペイントは意外に盛り上がっていて、滑ります。特に雨天路面がぬれている時は、要注意です。

刈払機による作業は、事前の教育が必要です。トラクタ運転・チェーンソー作業は、禁止です。

体験した「ヒヤリハット事例」を連絡してください。事故防止に活用させてください。

